## 最適使用推進ガイドラインについて

- 〇 再審査期間を終え、有効性及び安全性に関する情報が十分に蓄積された品目/効能・効果に関しては、事務的な手続きの簡略化を目的とし、最適使用推進ガイドラインの簡略化(以下、簡略化した GLを「簡略版 GL」という。)を行うこととしている(令和4年9月14日中医協了承)。
- 〇 今般、オプジーボ点滴静注の一部の効能・効果について、再審査が終了したため、 再審査が終了した効能・効果に係る最適使用推進ガイドラインは、簡略版 GL に改 訂することとしたい(令和7年10月29日の薬事審議会了承)。
- また、上記の再審査の結果に併せて、最適使用推進ガイドラインにおける本剤と他の抗悪性腫瘍剤との併用投与に関する規定(以下、「併用薬の規定」という。)も 改訂(併用薬の規定の削除)される予定であり、関連する保険適用上の留意事項を 改正することとしたい。

	品目	製造販売業者	簡略版 GL に改訂予定の 最適使用推進ガイドライン	最適使用推進ガイド ライン及び保険適用 上の留意事項の通知 発出日及び適用日**
1	オプジーボ点滴静注 20mg オプジーボ点滴静注 100mg オプジーボ点滴静注 120mg オプジーボ点滴静注 240mg	小野薬品工業(株)	〇悪性黒色腫 ※	(通知発出日·適用日) 令和7年11月下旬 (予定)

<sup>※</sup> 最適使用推進ガイドラインにおける併用薬の規定が改訂 (別紙参照)

- ●最適使用推進ガイドラインの新旧対照表(併用薬の規定)
- ※ 併用薬の規定を削除することにより、現行の留意事項通知で診療報酬明細書に記 載を求めている②の内容が削除される。

## 【悪性黒色腫】

## 改訂前 改訂後 5. 投与対象となる患者 3. 投与対象となる患者

- 【有効性に関する事項】
- ① 下記の患者において本剤の有効性が示さ れている。
  - 化学療法未治療及び既治療の根治切除不 能なⅢ期/Ⅳ期又は再発の悪性黒色腫患
  - ・完全切除後のⅢB/C 期/IV期の悪性黒色腫 患者における術後補助療法

なお、BRAF 遺伝子変異を有する患者におい ては、BRAF 阻害剤による治療も考慮するこ ہ طے

- ・完全切除後のⅡB/C期の悪性黒色腫患者に おける術後補助療法
- ② 本剤+イピリムマブ投与は化学療法未治 療の根治切除不能な悪性黒色腫患者を対象 とした海外第Ⅲ相試験(CA209067試験)にお いて、対照とされたイピリムマブ投与に対し て有効性が検証されている。ただし、本剤+ イピリムマブ投与と本剤単独投与を比較し た探索的な検討においては、PD-L1 発現状況 によりイピリムマブの上乗せ効果が異なる 傾向が示唆される結果が得られている(7p 参照)。そのため、根治切除不能な悪性黒色 腫患者において、本剤とイピリムマブとの併 用投与の可否を判断する場合、PD-L1 発現率 を確認することが望ましい。PD-L1 発現率が 1%以上であることが確認された患者におい ては、原則、本剤単独投与を優先する。なお、 根治切除不能な悪性黒色腫患者を対象とし た海外第 I 相試験 (CA209004 試験) のコホー ト8において、化学療法未治療患者と化学療 法既治療患者との間で本剤+イピリムマブ 投与の有効性に明確な差異は認められてい ない。

## 【安全性に関する事項】

- ① 下記に該当する患者については本剤の投 与が禁忌とされていることから、投与を行わ ないこと。
  - ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある 患者
- ② 治療前の評価において下記に該当する患 | ② 治療前の評価において下記に該当する患
- ① 下記に該当する患者については本剤の投
  - ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある 患者

与が禁忌とされていることから、投与を行わ

(削除)

(削除)

ないこと。

者については、本剤の投与は推奨されないが、他の治療選択肢がない場合に限り、慎重 に本剤を使用することを考慮できる。

- ・間質性肺疾患の合併又は既往のある患者
- ・胸部画像検査で間質影を認める患者及び 活動性の放射線肺臓炎や感染性肺炎等の 肺に炎症性変化がみられる患者
- ・自己免疫疾患の合併、又は慢性的な若しく は再発性の自己免疫疾患の既往歴のある 患者
- ・臓器移植歴 (造血幹細胞移植歴を含む) の ある患者
- ・結核の感染又は既往を有する患者
- ・ECOG Performance Status 3-4 の患者

者については、本剤の投与は推奨されないが、他の治療選択肢がない場合に限り、慎重 に本剤を使用することを考慮できる。

- ・間質性肺疾患の合併又は既往のある患者
- ・胸部画像検査で間質影を認める患者及び 活動性の放射線肺臓炎や感染性肺炎等の 肺に炎症性変化がみられる患者
- ・自己免疫疾患の合併、又は慢性的な若しく は再発性の自己免疫疾患の既往歴のある 患者
- ・臓器移植歴(造血幹細胞移植歴を含む)の ある患者
- ・結核の感染又は既往を有する患者
- ・ECOG Performance Status 3-4 の患者